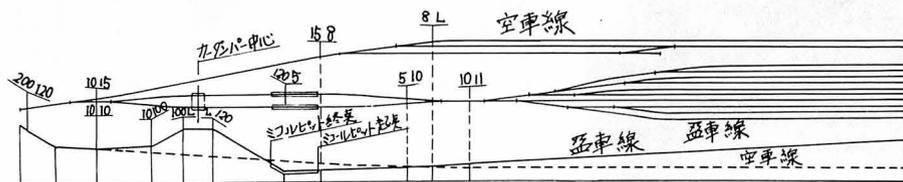


を通じて船積をする。底開炭車を使用するときは、昇降台を傾けるかわりに台の一部を傾げると、炭車の底から出た石炭は容易にシュートに流出する。炭車1両の取扱に2分を要するので、

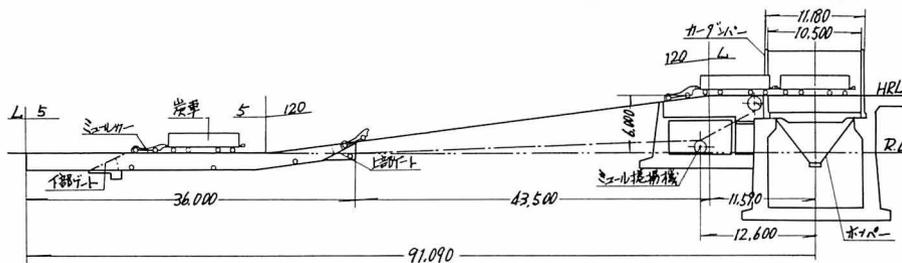
15t車を使用すれば450t/hの積込能力がある。

エ トランスポーター 岸壁わきに貯炭場があり、ここに貯炭されているものをグラブでつかみ、ベルトコンベヤに積込み、そのままコンベヤにより船積されるか、またはローダーを設けて船積するかによるもので、トランスポーター、ベルトコンベヤ、およびローダーの3種類の機械をもって構成する積出設備である(図-4)。

6. 配線図



7. ミュール断面図



8. 配線図

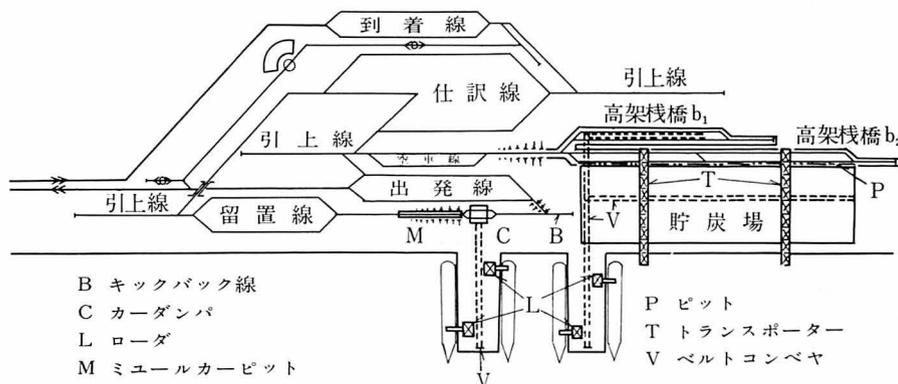


図-8は船積する構内の配線の一例で炭車および船積作業順序はつぎのとおりである。

